



南小ホームページQRコード

プール開きもおわり、プールから子ども達の楽しそうな声が聞こえるようになりました。早いもので、1学期も残すところあと3週間ほどです。7月も落ち着いてしっかり学習に取り組んでいきたいと思えます。

『書くこと』に困り感をもつ児童について

今月のテーマ

今月から、学習に必要な「書くこと」「話すこと」「見ること」についてお伝えしていきます。

「書くこと」については、話すことや文字を読むことはできるのに、文字が正確に書けなかったり、書くこと自体が苦手だったり困り感を抱えている児童がいます。

そこで、お子さまは次のようなことで困っていませんか？

- ・文字がマスや行から大きくはみ出してしまふ。
- ・文字のバランスがとれない。
- ・当該学年の漢字を習得することが難しい。
- ・文字に余分な線や点を書いたり、または足りなかったりする。
- ・「わ」と「ね」と「れ」、「め」と「ぬ」のように形が似ている文字の誤りが多い。
- ・拗音(「きゃ」「きゅ」「きょ」)、促音(小さい「っ」)、撥音(「ん')の誤りが多い。

例「しょうがっこう」→「しゅがこう」、「べんきょう」→「べきょう」、
「きて」→「きて」、「にんじん」→「にじん」など。

- ・句読点「、」「。」を忘れる。

「努力していないから書けない」「苦手なら人よりたくさん練習すればいい」と子どもの努力不足を責めてしまうことがありませんか。確かにそういう場合もありますが、中には**みんなと同じやり方では、どんなに本人が頑張っても難しい**ということもあります。例えば、書く力が弱い子どもに、5 ページも 6 ページも書いて覚えなさいというのは、苦痛でしかありません。その子に合ったやり方を見つけて取り組ませることが大切です。もし、上記のようなことでお子さまが困り感をもたれていたら、気軽にご相談ください。

*** 来月のテーマは、「話すことに困り感をもつ児童について」です。お楽しみに！



と一息、



クイズのコーナー♪

なにを表しているでしょう？

すすすすすすすす

ヒント…全部で何文字でしょうか。

